



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

**16日**

対オセアニア通貨を中心にドル安が進んだうえ、米長期金利が低下したことも材料視され、ドル円は一時104.36円まで値を下げた。米製薬大手のモデルナが新型コロナウイルスのワクチンの最終治験で94.5%の有効性を得たと発表するとダウ先物が急伸したため、ドル円も105.13円まで反発したが、長続きせず。11月米ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想を下回る結果となると次第に売り圧力が高まり104円台半ばまで押し戻された。

**17日**

時間外のダウ先物が下げたことでクロス円が売られるとドル円はつれ安となった。10月米小売売上高が弱い内容だったことが伝わると一時104.07円まで値を下げ、その後の戻りも鈍かった。

**18日**

ドル円は欧州勢参入に伴ってサポートされていた節目の104.00円を下抜けた。米製薬大手ファイザーが開発中の新型コロナワクチンが最終分析での予防効果が95%に達したとの報道が伝わると104.10円付近まで切り返す場面があったが、反発力は弱かった。戻りの鈍さを確認すると、NY勢参入後には一時103.65円まで下値を広げた。

**19日**

欧州株安をきっかけにリスク・オフのドル買いが強まり、ドル円は一時104.22円まで上昇した。ただ、米長期金利の低下に伴うドル売りや、米国株の持ち直しに伴うリスク・オンのドル売りが散見されたため再び103円台に戻された。

**20日**

週末でイベントもなく、ドル円は小康状態となり値幅は21銭に留まるなど、終始様子見ムードが広がった。

**総括**

先週のドル円は頭の重い動きとなった。週明けこそ新型コロナワクチン開発への期待感から105円台に乗せる場面があったものの、滞空時間は短く、その後はずるずると上値を切り下げる展開となった。これまでのサポートだった104円の節目を割れると一時103.65円まで下げた。その後週末にかけても104円台をキープできず戻り鈍いまま終了した。

## 先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	予想値	結果
17日	09:30	火	AUD	RBA議事要旨	*	*	*	*	*
17日	22:30	火	USD	小売売上高	前月比	10月	1.9%	0.5%	0.3%
18日	16:00	水	GBP	CPI	前月比	10月	0.4%	-0.1%	0.0%
18日	19:00	水	EUR	HICP改定値	前年比	10月	-0.3%	-0.3%	-0.3%
19日	20:00	木	TRY	トルコ中銀政策金利	*	*	10.25%	15.00%	15.00%
19日	未定	木	ZAR	SARB政策金利	*	*	3.50%	3.50%	3.50%
20日	08:30	金	JPY	CPIコア	前年比	10月	-0.3%	-0.7%	-0.7%

一言コメント・・・トルコ中銀が予想通り大幅利上げに踏み切ったことを受けて、市場では「7日に就任したアーバル新総裁のもと、金融政策が正常化に向かう」との期待からリラ買いが入りました。ただ、エルドアン大統領は改めて高金利に難色を示しており、リラ買いの勢いは長続きしませんでした。

## 先週の注目された要人発言

18日05:33 バーキン米リッチモンド連銀総裁「米経済、厳しい数カ月となるだろう」「広範囲にコロナワクチンが行き渡るのは夏以降」  
 18日19:42 ホールデン英MPC委員「英国の経済成長は、第3四半期時点の予想を上回っている」「マイナス金利には、重要な恩恵がある」  
 18日21:13 エルドアン・トルコ大統領「我々の目標は、一桁のインフレ率」「我々は、物価と財政の健全性を目指す」「9月の経済指標は、景気回復を示唆」「投資家は高金利に押しつぶされてはならない」  
 19日17:11 ラガルドECB総裁「需要の低迷は、景気刺激策の必要性を示唆」「EU復興基金は遅滞なく実用化」「欧州連合(EU)の支出パッケージは、遅滞なく機能する必要」「12月のECB理事会では、景気刺激策を発動する」  
 19日20:40 スラック英首相報道官「欧州連合(EU)との通商交渉は順調に進んでいる」  
 19日23:28 バルニエEU離脱首席交渉官「私のチームの交渉担当者の1人が新型コロナウイルス検査で陽性だった」「ブレグジット交渉を短期的に中断することを決定」  
 20日05:20 シューマー米上院院内総務(民主党)「マコネル上院院内総務(共和党)が経済対策の交渉再開に合意」  
 20日20:26 フォンデアライエン欧州委員長「英国と欧州連合(EU)との通商協議は順調に進展している模様」「しかし、まだなすべき作業が多く残されている」

一言コメント・・・英国とEUの将来関係を巡る交渉について、フォンデアライエン欧州委員長やスラック英首相報道官など両サイド要人から「進展が見られた」とポジティブな発言が聞かれました。英EU交渉の合意期待からポンド買いが強まる場面がありました。

## 今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
24日	16:00	火	DEM	GDP改定値	前期比	7-9月期	8.2%		8.2%
24日	23:00	火	EUR	ラガルドECB総裁講演	*	*	*	*	*
24日	24:00	火	USD	消費者信頼感指数	*	11月	100.9		97.9
25日	22:30	水	USD	GDP改定値	前期比年率	7-9月期	33.1%		33.1%
25日	24:00	水	USD	PCEコアデフレーター	前年比	10月	1.5%		1.4%
25日	24:00	水	USD	新築住宅販売件数	前月比	10月	-3.5%		1.7%
25日	28:00	水	USD	FOMC議事要旨	*	*	*	*	*

今週の注目は・・・感謝祭前のポジション調整

# 週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで  
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
  - 荻野金男
  - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
  - 今井雅人
  - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。